

平成 29 年度 「障害福祉施設等危機管理講習会」の実施要領 (抄)

1 目 的

津久井やまゆり園事件検証委員会報告書において、社会福祉施設に現場の責任者以外に危機管理の責任者を設置することが提案された。しかし、社会福祉施設等においては、危機管理等に関する知識を持つ職員が在籍していることは少なく、まずは危機発生時に適切に対応できるよう、危機管理に関する知識等の向上を図る必要がある。

この講習会では、社会福祉施設等における防犯対策や危機管理に関する知識の向上を図るため、防犯の専門家から危機に備える組織や体制整備の必要性を講義いただき、危機管理意識の向上及び啓発を促すこととする。

2 対 象

県所管域の夜間利用者が常時生活している入所施設、グループホーム等とする。

3 日程・定員

(1) 1 回目

平成29年 8 月 9 日 (水) 午前9 : 30 ~ 午前11 : 50 定員 概ね80名

(2) 2 回目

平成29年 8 月23日 (水) 午前9 : 30 ~ 午前11 : 50 定員 概ね80名

受講者は、講習会開始 5 分前までに会場に集合してください。受付は30分前からです。

4 会 場

(1) 1 回目 湘南地域 (平塚市・平塚市青少年会館)

(2) 2 回目 県央地域 (厚木市・厚木合同庁舎)

5 講習会日程

時間	内容	講師等
9 : 30	開会挨拶	県 障害福祉課
	研修概要の説明	
43	講師紹介	
45	講習会	
	危機管理とは	神奈川防犯連絡会 会長 杉森和夫氏
	防災と防犯の取組の違い	
	過去の事例から学ぶべき事	
10 : 35	【 休 憩 】	(調整中)
45	防犯マニュアル作成の要点と意図	
11 : 15	質疑応答	県 障害福祉課
35	アンケート記載及び回収	
50	閉会	

平成29年度 「障害福祉施設等危機管理アドバイザー派遣事業」の実施要領

(抄)

1 目 的

社会福祉施設等における防犯対策や危機管理に関する知識の向上を図るため、防犯の専門家による危機に備える組織や体制整備の必要性についての講演会を実施する。

この講演会を受講した社会福祉施設等で、危機管理アドバイザーによる具体的な施設内の防犯体制等について助言や指導を希望する社会福祉施設等に危機管理アドバイザーの派遣を実施する。

2 対 象

社会福祉施設等危機管理講習会を受講した入所施設、グループホーム等で、危機管理アドバイザーの派遣を希望する30施設とする。

希望する施設等が多数となった場合は、アドバイザーと調整のうえ県障害福祉課が実施施設等を選定する。

3 派遣に向けたスケジュール

日程	内容
7月中旬	・30施設に派遣する危機管理アドバイザーの選任、依頼(5人×6施設=30施設)
7月下旬	・選任したアドバイザーによる施設の事前見学実施 (定員100人以上の大規模施設、60名程度の中規模施設、グループホーム等)
8月	・危機管理アドバイザーとの打合せ
8月、9月	・防犯講習会開催(県所管域で2回開催) ・講習会で危機管理アドバイザー派遣の周知と派遣を希望する施設の募集 ・施設の募集の際に助言を受けたい内容等について事前調査
10月	・危機管理アドバイザーの派遣施設の決定 ・派遣施設と危機管理アドバイザーのマッチング(助言内容、日程調整等) ・危機管理アドバイザーの正式な派遣依頼
11月～2月	・順次危機管理アドバイザーの派遣